

東芝は差別爭議の全面解決はかれ

労働委員会命令を履行して 差別をなくし 原子力発電システムメーカーの社会的責任はたせ

中越地震では、柏崎刈羽原子力発電所が大きな被害を受けました。東芝は、7基の原発設備のうち4、5号機を除く5基を納入しています。

原子力発電システム分野で世界のトップをめざしている東芝には、大きな社会的責任が課せられています。

このような東芝が、職場内に秘密組織をつくって労組に介入、組合活動や思想信条で差別して、2001年から3度にわたり労働委員会から差別是正命令を受けています。しかし、東芝は労組法を無視して、これらの命令を履行せず「法令順守・CSR遂行」の約束をふみにじっています。

データ改ざん・原発事故隠し 再発を防止するには

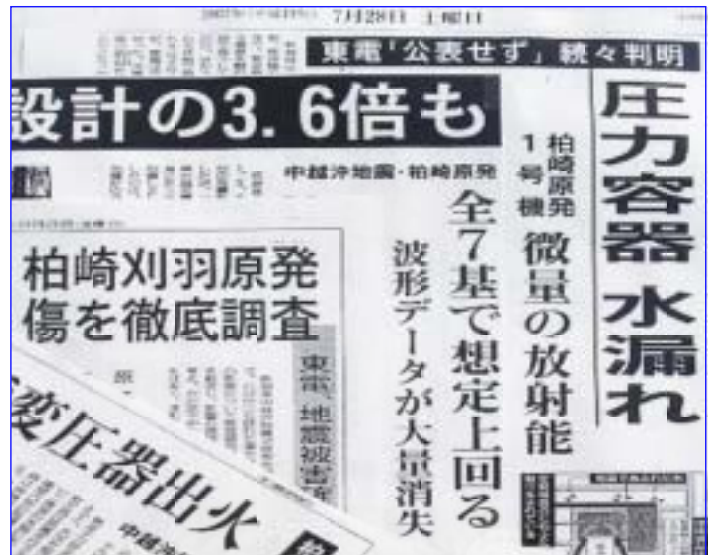
マスコミの報道で「公表遅れ」が批判されるなかで、柏崎原発で定期点検保守作業に従事していた多くの労働者が放射能汚染の危険にさらされていた事実も明らかになっています。

東芝から現地に出張していた労働者も、放射能検査機器が故障して発電所内に一時閉じこめられ、職場で大きな話題になっています。

東芝京浜事業所長は、談合事件や原発機器のデータ改ざん、原発事故隠しに関連して「自由にモノが言える職場風土に変える」と言いました。いま、東芝の西田社長が言う「法令順守、社会的責任(CSR)の遂行」という約束が、本当に実行されるかどうか注目されています。

会社は差別扱いを反省し 働きがいある職場づくりを

ところが、東芝の労務担当者は「公安警察出身者を雇い入れのはあたりまえ、秘密組織というが自己啓発の活動だから」と言いわけをして、労働委員会の命令を受けても反省の意思を示していません。会社は、横浜市議選で発電機器製



地震で被災した柏崎刈羽原発の新聞報道(07年7月～8月)
東芝は原発1,2,3,6,7号機を納入、炎上した変圧器も東芝製。

造拠点である京浜事業所の元労組委員長(民主党)を企業ぐるみ市会議員として活用、60才を過ぎても子会社の役職者待遇で扱い議員歳費とは別に600万円以上の報酬を支払っています。

全面一括解決で明るい職場を



全労連爭議支援総行動(本社前)

このような古い東芝の労務体質では、原子力事業での違法行為や不祥事の再発が心配です。

東芝の労務管理の実態は、東芝ホームページ上の宣伝からは想像できないような「元公安警察官を雇って労務対策の秘密組織をつくり、会社の意にそわない人を『問題者』扱いして差別し、退職に追い込む」という陰湿なやり方にあります。

私達は、東芝が労働委員会命令を履行して古い労務体質を変えて明るい職場をつくり、申立人と差別是正社長申し入れ者の差別を是正し償わせる爭議の全面一括解決をめざします。

皆様の大きなご支援をお願いします。

東芝爭議支援共闘会議・東芝の職場を明るくする会

〒210-0006 川崎市川崎区砂子2-11-20 大幸ビル402 川崎労連内 TEL 044-211-5164 2007年8月

東芝は労働者監視・秘密組織育成の特殊労務管理をやめよ

60年代から 元公安警察官を採用 最近では自衛隊情報保全隊からも

本年6月、国民監視活動で批判を浴びている、自衛隊情報保全隊の幹部が東芝へ天下りしていたことが明らかになりました。（詳細は東芝の職場を明るくする会ホームページ参照）

情報保全隊幹部の主な天下り先（05年天下り）

自衛隊離職前部署（階級）	天下り先会社名
情報保全隊本部付（准尉）	東芝セキュリティ
情報保全隊（札幌）付（3佐）	荏原エンジニアリングサービス
情報保全隊（千僧）付（曹長）	川崎重工神戸拠点
情報保全隊（北熊本）付（曹長）	総合警備保障
情報保全隊長（陸将補）	東芝
情報保全隊本部付（1佐）	太平サービス
情報保全隊（姫路）付（3佐）	弘済企業
情報保全隊（小郡）付（曹長）	第一道路サービス
情報保全隊付（曹長）	全日警

2005年天下り組のトップである情報保全隊長は東芝に入社し、国民監視の経験を労働者監視に活用しています。上記のほか数名が、軍事生産拠点である東芝小向工場と東芝電波プロダクツ社に入社しています。

また、神奈川県労委の審理では、多数の元警官が下表のように、東芝の各工場に配置されていることも立証されています。

神奈川県警部署	警察出身者	東芝での部署
神奈川県警本部	初鹿 真	勤労部、堀川町
鶴見警察署	藤原 正一	タービン、京浜、勤労部
川崎警察署	志田 鉦八	小向工場、勤労部
加賀町警察署	中田 雅明	小向、勤労部、横浜事業所
大和警察署	鈴木 清	玉川、那須工場
川崎警察署	折館 博	中央研究所
神奈川県警本部	広瀬 正	音響、磯子工場
神奈川県警本部	大倉今朝四郎	柳町工場
警備課公安係	ほかに数名有り	勤労調査主査など歴任

東芝では上表のように、1960年代から現在まで警備公安警察官を多数雇い入れ、労働者の監視や秘密組織の指導育成にあたらせてきました。

秘密警察や自衛隊情報保全隊と結びついた労務管理、秘密組織「東芝扇会＝自己啓発の会」を使った労働者どうしを監視させ密告させるシステムこそ、京浜事業所長が「自由にもの言えない職場風土がある」と嘆かざるを得ない原因をつくってきたのではないのでしょうか。

扇会から「自己啓発の会」へ 秘密組織で労働者を相互監視

株主総会で株主の質問に対して「自己啓発の会は従業員の自主的な活動」と答弁しましたが、これが真っ赤なウソであることは次の証拠からも明らかです。

自己啓発の会「やなぎ」会員アンケート

20 ……出張扱いで思想教育？まで受けた者の集合秘密組織が自主活動とは言えない。ある外部団体も認めるところである。

35 「職場管理者教育」を受講して会員になっているが、会の存在がイリーガルなため、情報を共有化すべき職場の同僚には「組合の集まりがあるからお先に」と言いながら会の集まりに出席したりしている。もっと公明正大に活動できるよう会社側に再考していただきたい。

勤務中に社内で、勤労課長とともに代表者会議

（柳）[総]（勤）南川GPM 殿 （旧柳町工場勤労課長）

1. 地域連絡会の件

日時：H13-8-31（金） 15:00～17:00

場所：（柳町事業所）16号建屋 1E会議室

出席対象者：（YAS）（浜風）（そてつ）（やなぎ）の各代表者

15:00より開催いたしますので、一言ご挨拶をお願いします。

東芝の職場を明るくする会 ホームページ

58万
アクセス突破
検索のキーワードは
「東芝の職場」



東芝の職場を明るくする会（人権を守り差別のない明るい職場を作る東芝の会）044-533-1408